

マイマイ野生復帰大作戦第2弾 南島で始まりました！



遺産だよりの前身となる自然情報センターだよりや、前号の遺産だより、村民だよりなどでもお知らせしてきた、南島でのマイマイ野生復帰が先月ついに始まりました！！

生きたカタマイマイの仲間を南島で再び見られるよう、今後も取り組みを進めていきます。

なぜ野生復帰が必要？

- ① 父島では、ニューギニアヤリガタリクウズムシ（ニューヤリ）やネズミなどの影響で、小笠原にしか生息していないマイマイが絶滅の危機に瀕している
- ② 絶滅の危機から救うために遺産センターで飼育しているが、飼育が長期化すると室内環境に慣れてしまうなどの恐れがある
- ③ 南島ではかつてカタマイマイの仲間が生息しており、今回野生復帰する2種の殻も見つかっている
- ④ 南島にはニューヤリがおらず、ネズミもほとんどいない
- ⑤ マイマイの住処となる植生も回復してきている
- ⑥ 巽島での取り組み（野生復帰大作戦第1弾）が順調に進んでおり、野生復帰のやり方が分かってきた

こうしたたくさんの理由だけでなく、南島という観光利用の盛んな場所で行うことで、多くの人に取り組みを知ってもらえるきっかけにもなると考えています。

どんなマイマイを放した？



チヂジマカタマイマイ

- ・ 落ち葉の下や地面にすることが多い
- ・ 殻に線が入っている（しま模様がある）
- ・ 放して1ヶ月後の発見数：？/88



アナカタマイマイ

- ・ 樹の上にいることが多いが地面にすることもある
- ・ 殻に線が入っていない（しま模様はない）
- ・ 放して1ヶ月後の発見数：？/85



野生復帰とは？

施設の中で育てた生き物を生息地へ戻して、生息数を回復させる取組のこと



南島でマイマイを見つけたら
教えてください→→→



「世界自然遺産小笠原諸島 管理計画」について

おたよりを読んで、実際の計画書を見てみたい！と思ったら、“小笠原世界遺産センターHP”へ！

現行の計画書（今号で紹介した見直し作業を実施する前のもの）を小笠原世界遺産センターHP上でご覧いただけます。

HPへは、右のQRコードからアクセスできます。「データバンク」→「計画書・ガイドライン等」に、2018年3月版（現行）の管理計画を掲載しています。

見直し作業後の計画書については、最終調整が完了次第、公開予定です。

http://ogasawara-info.jp/

表紙写真(全体)：南島 マイマイ野生復帰の実施場所、(左上)アナカタマイマイを放す様子、(右下)：チヂジマカタマイマイを放す様子 環境省撮影(2023年)

◆お問い合わせ先◆

本チラシに関するお問い合わせは、下記のお問い合わせ先にご連絡ください。

環境省小笠原自然保護官事務所（世界遺産センター）
Tel/Fax：04998-2-7174/7175
林野庁小笠原諸島森林生態系保全センター
Tel/Fax：04998-2-3403/2650

東京都小笠原支庁土木課自然環境担当
Tel/Fax：04998-2-2167/2302
小笠原村環境課
Tel/Fax：04998-2-2270/2271



小笠原 世界自然遺産だより

第5号
2024年1月



世界自然遺産を守るための全体計画「管理計画」の見直し作業が完了間近です

昨年度から実施してきた、小笠原の世界自然遺産の価値を守るための全体計画である「世界自然遺産小笠原諸島 管理計画」の見直し作業が概ね完了しました。今号では、管理計画のこれまでのあゆみと今回の見直しのポイントについて紹介します。

見直し作業

「管理計画(2018年3月版)」にもとづき、世界自然遺産小笠原諸島を守ってきましたが、前回の見直し作業以降に生じた課題や自然環境・社会環境の変化に応じて方針を変えていく必要があります。そこで、2022年から地域連絡会議や科学委員会等の関係者と連携しながら管理計画の見直し作業を実施してきました。



検討の経緯

会議や意見募集など見直しのスケジュールを紹介します。

| | 地域連絡会議 (地域の関係者) | 科学委員会 (科学者) |
|-------|---|-----------------------|
| 2022年 | | |
| 6月 | | 第1回科学委員会 |
| 7月 | 作業部会 キックオフミーティング | |
| 8月 | | |
| 9月 | 第1回作業部会 | |
| 10月 | 第2回作業部会 | 気候変動ヒアリング・ 個別ヒアリング |
| 11月 | 第3回作業部会 | 第1回合同作業チーム |
| 12月 | 地域連絡会議 | 第2回科学委員会 |
| 2023年 | | |
| 1月 | | |
| 2月 | | |
| 3月 | | 第2回合同作業チーム |
| 4月 | | |
| 5月 | | |
| 6月 | 第1回地域連絡会議 | 第1回科学委員会 |
| 7月 | 11/8~12/10の約1か月間、 管理計画案についての意見募集を行い、 皆さまから貴重なご意見をいただきました。 | |
| 8月 | | |
| 9月 | | |
| 10月 | | 第3回合同作業チーム |
| 11月 | 意見募集の実施 | |
| 12月 | 第2回地域連絡会議 | 第2回科学委員会 |
| 2024年 | | |
| 1月 | | |
| 2月 | | |
| 3月 | 管理計画改定(予定) | |

見直しのポイント

自然環境・社会状況等の変化を踏まえて、様々な視点から見直しを行いました。現行管理計画(2018年版)からの変更点のうち、特に重要なポイントを紹介します。

「世界遺産を活用した地域づくりと

エコツーリズムの推進」

小笠原の地域づくり・観光振興で、小笠原が世界遺産であるということを活用しよう!

地域環境の保全と社会・経済を豊かにする持続的なエコツーリズムを目指そう!

「遺産価値の再評価」

既に認められた遺産価値の「生態系」に加え、「地形・地質」と「生物多様性」について改めて調べて、世界遺産としての価値がないか再評価しよう!

「予算・人員の拡充と効果的活用」

これからも持続的に遺産価値を守っていくために、保全のための予算や人員を充実させ、効果的に活用しよう! 新たな予算確保やそのための仕組みを考えよう!

「外来種対策の強化」

外来種から遺産価値を守るための技術を開発しよう! 外来種の侵入や拡散を防ぐための体制づくりをしよう!

その他、

「気候変動への対応」

「研究者の役割の再整理」

「管理計画・アクションプランの構成再整理」の視点から見直しを行いました。

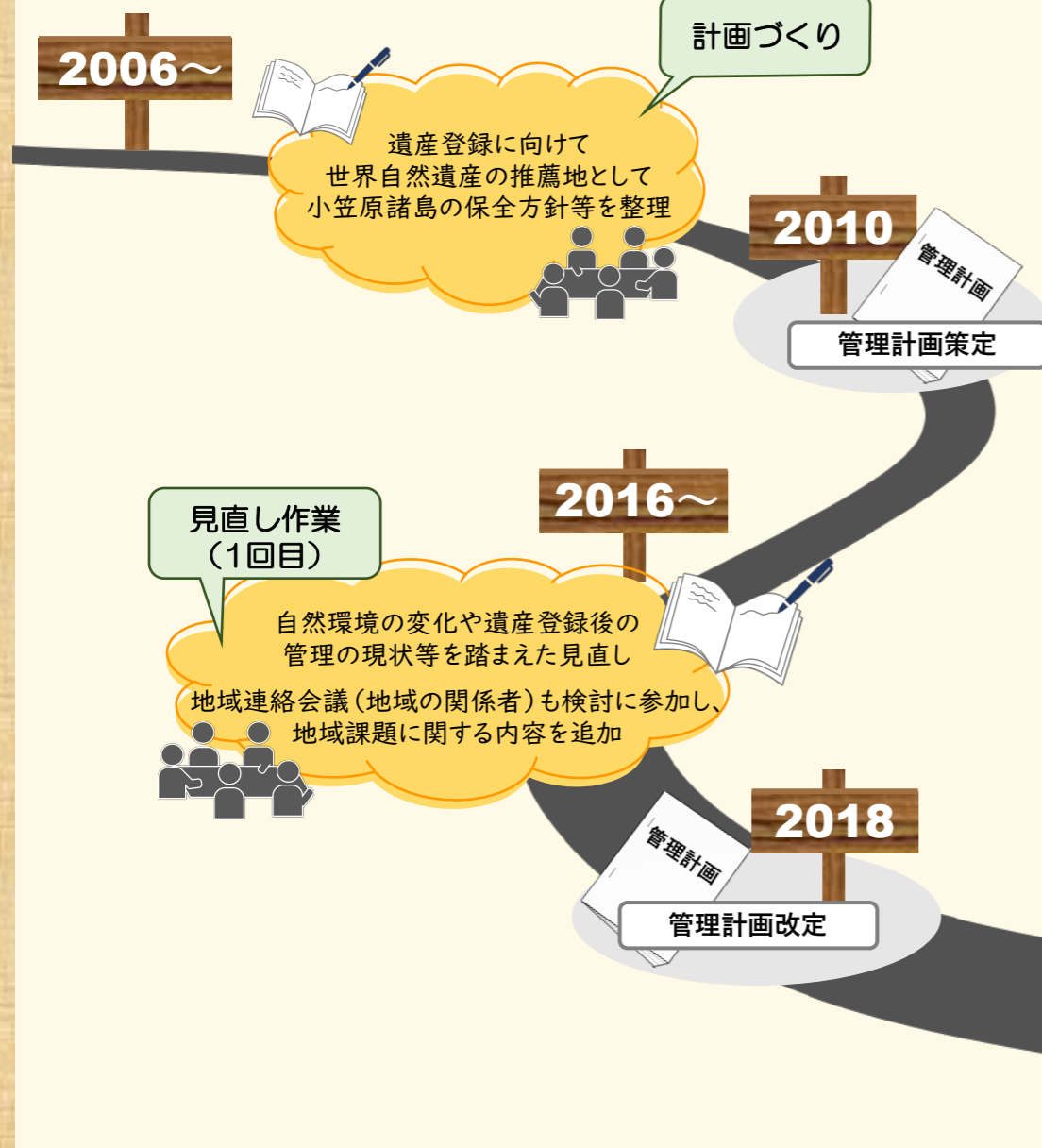
「アクションプラン」: 実際にどの機関がどんな事業を行うのかをまとめた計画書。管理計画を補完する具体の行動計画。

管理計画の改定完了に向けて最終案のとりまとめ・行政手続きを実施していきます。(改定後の管理計画の公表と併せて意見募集結果もご紹介する予定です。)

世界自然遺産小笠原諸島 管理計画 ってなに?

- 小笠原の世界自然遺産地域の中長期的な保全方針、管理体制等をまとめた計画書。
- 小笠原諸島世界自然遺産に関する計画書の中でも、特に重要な全体計画。

世界自然遺産地域を含む小笠原諸島の自然環境は、法令やそれらに基づく多数の事業・取組、各種ルールやボランティア活動等によって守られています。各種取組をより計画的・効果的に実行していくため、また様々な関係者と保全管理の目標を共有するために管理計画を策定しています。



2024年3月に新しい管理計画が完成予定です。新しい管理計画のもと、島の人々と自然がともに輝きを増していくように取組を進めていきます。これからもご理解・ご協力をお願いいたします。